

1月24日（火） 看護研修センター

ファシリテーター研修

というテーマで青木将幸ファシリテーター事務所 代表の**青木 将幸**先生に講義を行っていただく。

参加者は48名であった。

この日は和歌山ではめずらしく雪が積もり、高速道路及び電車が不通となってしまった。そのため、開始時間に集まったのはごく数人で、午後の研修が始まる際に48名となる。しかし、紀南地区の方はほとんどが欠席という状態でした。出席できなかった皆様には、申し訳なく思っている。

研修は初めからグループワークで、自分の病院の良いところ・悪いところを話し合い発表。テーマを変えて話し合いを行う。その中でグループ討議・会議の時の進め方、参加者に発言してもらうにはなどを学習していく。

研修はパワーポイントを使わず、ホワイトボード・スケッチブック・マジックなどを使用。ゲーム形式で講義を進める。「うなずき」「あいづち」は会議を活発にすることなど技法について学習する。

また、午後からはグループ内でひとつのテーマについて話し合う。時計係・進行係・テーマ提供者をグループ内で交代しながら経験。対応する人で会議の雰囲気が変わることを実感していた。



(こんな雪の日でした)



(発表風景)



(机の上にはスケッチブックやマジック)



(ホワイトボードに書いたり、シールを貼ったり)

1月29日（日） 看護研修センター

エンド・オブ・ライフ（在宅編）

というテーマで訪問看護ステーション 駿隣 訪問看護認定看護師の平岡 桃重先生に講義を行っていただく。

参加者は52名。

午前・午後ともグループワークを行う。グループでの討議も活発で、発表は我先にと手を上げて自主的な発表となる。

グループ討議では事例を通して自分たちの考えを話し合う。そのあと、先生が実際に関わった内容を講義してくれる。

その中で、ペットとの関わりや家族との関わりなどを考えて行った。

余命とその人の好きな事、自分らしく暮らすとは？重い内容をグループで話し合い、いろいろと考えさせられた研修だった。

一般研修では最後となった研修だったためか、グループワーク・発表ともとても活発で質問も多かった。



（グループワーク中）



（手を挙げた順に発表）

※ 今年度講義をしていただいた先生、研修に参加していただいた受講生の皆様、お疲れ様でした。講師の派遣にご協力いただいた施設の皆様に感謝いたします。来年度もより皆様のキャリアアップに活かしていただけるような研修会にしていきたいと思えます。